

患者の皆様へ

H29 年 10 月 23 日

乳腺甲状腺外科

現在、乳腺甲状腺外科では、「乳癌術前化学療法症例における皮膚変化の組織学的検討」に関する研究を行っています。今後の治療に役立てることを目的に、この研究で 2007 年から 2016 年に当院で手術された乳癌患者さまの診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

1. 研究課題名 「乳癌術前化学療法症例における皮膚変化の組織学的検討」

2. 研究の意義・目的

乳癌治療で使われる化学療法は一般に全身のむくみをきたすとされていますが、具体的にどのような変化がおこるのかという研究はあまり行われていません。今回、乳癌の術前化学療法によって皮膚がどのような変化をきたすかを、手術標本に含まれる皮膚（手術の際に腫瘍とともに切除される皮膚）の顕鏡像で検討します。それにより今後、浮腫の治療をするにあたって有益な情報が得られる可能性があります。

3. 研究の方法

2007 年から 2016 年に当院で手術（乳房切除）で切除された手術検体（術前化学療法群および化学療法を行っていない群それぞれ 38 症例）の病理標本を用います。これは通常の病理診断を行う際に作られるものです。腫瘍とともに皮膚が切除されますが、皮膚の一部も標本として保存されています。研究で用いることのできる皮膚が含まれた症例の顕微鏡像を確認することにより化学療法を行うことによる皮膚の変化を検討します。また、電子カルテ上の CT 画像でむくみの程度を確認し、顕微鏡像と関連があるかを調べます。

4. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、匿名化して管理し外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学大学院医学研究院臓器制御外科学教室の鍵のかかる机で保管します。

5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をします。ので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて揭示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学医学部附属病院乳腺甲状腺外科

本件のお問合せ先 : 医学部附属病院乳腺甲状腺外科

医師 藤本 浩司、 中川綾子

043（222）7171 内線5282